

# 飛沫防止柵を設置

萬運輸 点呼場所に

【神奈川】萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）では、新型コロナウイルスの感染症対策を各営業所で実施している。手洗いや消毒、3密の回避に加え、事務所内に飛沫防止対策を施している。ドライバーと内勤者が至近距離で触れる機会は限られているが、そのひとつが点呼だ。

同社では、点呼場

所に飛沫防止柵を設置。社内での感染予防に努めている。柵はホームセンターで購入した部材を組み合わせ、フィルムを張ったもの。万一、社内では保菌者が出た際に社内感染による蔓延を防止する。防止柵には厚生労働省の啓発メッセージ「知らないうちに、拡めちゃうから。STOP! 感染拡大」が掲示されている。

同社ではその他にも、営業所同士の人々の行き来を避けるようにするなど、万一が一感染者・保菌者が出た際のことまで想定して対策を立てている。（田川侑史）



（レイアウト・又野初音）